

# 対策検討委が方針

## アスベスト 問題で

横須賀市

86.11.14  
毎日  
(夜版)

発がん  
性物質

発がん性物質として国際的にクローズアップされている石綿(アスベスト)問題について、全国の自治体に先がけて対策検討委員会を設置した横須賀市は十三日、初会議を開き、国に対し通達や対策指針など具体的制度の早期実現方を要請する、などの基本方針を打ち出した。

同盟横須賀支部(蓮田孝一支部長)など十一団体の陳情や

同基地から搬出した石綿廃棄物を、業者が市内路上に不法放置した事件が発生したこと  
から、今日、杉山敏助役を委員長に、庁内九部局十二人で同委員会を設置。石綿に  
対する環境対策、健康調査、  
廃棄物管理、医学的研究など  
を検討し、各部局の枠をはず  
して総合的に対策をたてるこ  
ととした。

この日打ち出した主な基本  
方針は①同患者同盟横須賀支  
部など密接な連絡をとり、  
肺がんやじん肺についての講  
座開催、啓もう冊子の発行の  
市が定期的に実施している肺  
がん検診の積み重ねの中で疫  
学的追跡調査を行い、石綿関  
連と考えられる肺がんについ  
て市民病院で重点的診察をす  
る。同時に病理的検査で因果  
関係を研究する②同基地内作  
業に従事する下請け業者や石  
綿を扱う企業の実態をつかみ  
健康障害防止措置を積極的に  
働きかける③石綿廃棄物処理  
の流れをつかみ、継続的監視  
とチェックを行う——として  
いる。

部など密接な連絡をとり、肺がんやじん肺についての講座開催、啓もう冊子の発行の市が定期的に実施している肺がん検診の積み重ねの中で疫学的追跡調査を行い、石綿関連と考えられる肺がんについて市民病院で重点的診察をする。同時に病理的検査で因果関係を研究する②同基地内作業に従事する下請け業者や石綿を扱う企業の実態をつかみ健康障害防止措置を積極的に働きかける③石綿廃棄物処理の流れをつかみ、継続的監視とチェックを行う——として